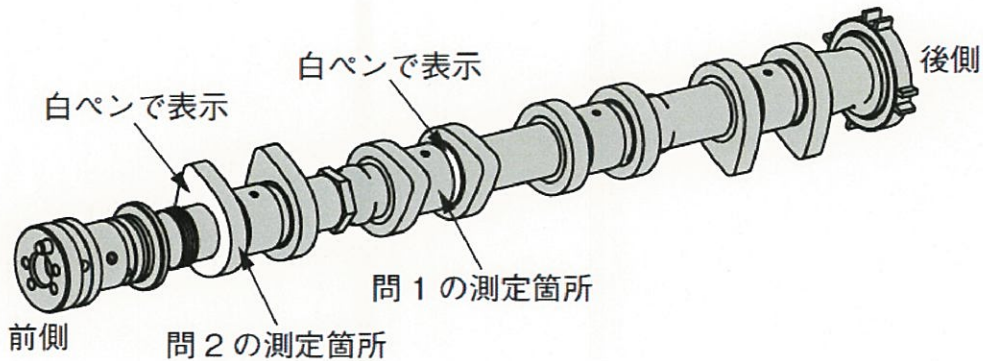


留意事項 (2G)

問題 1

カムシャフトの形状と測定箇所



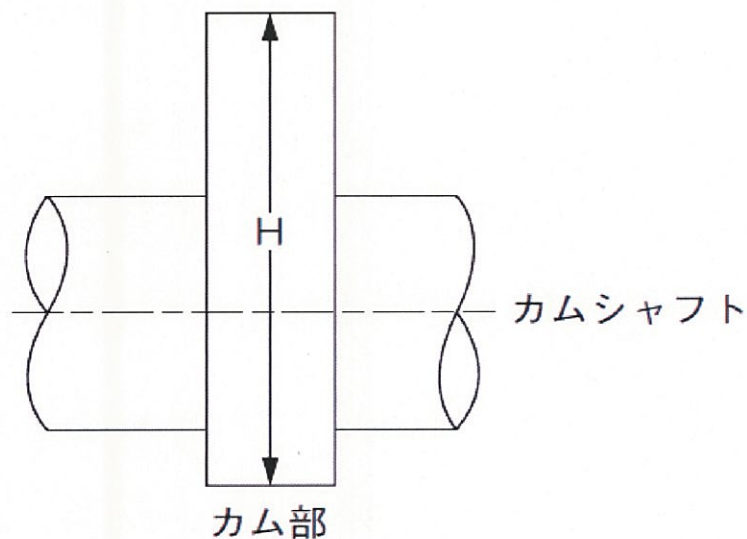
問 1 カムシャフトの曲がり限度 : 0.02 mm

※測定箇所は, 白ペンで表示してあります。

問 2 カムの長径(カムの高さ:図のH)の限度 : 43.71 mm

※測定箇所は, 白ペンで表示してあります。

※カムの長径は, 中央部一箇所のみ測定する。



問3

① この問題で使用するタペットは、シム一体式(タペット選択式)です。

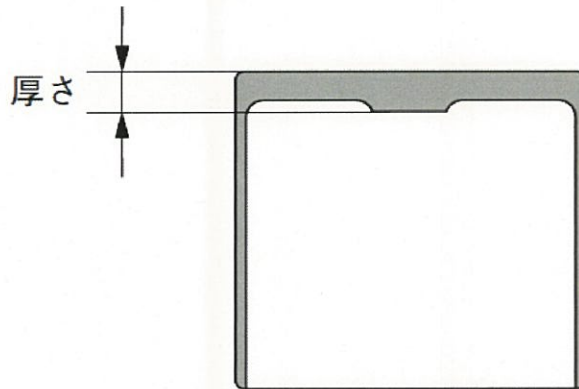
② バルブ・クリアランスの値

バルブ・クリアランス基準値 : 0.22 mm (中央値)

〃 限度値 : 0.18 mm (最小値)

〃 限度値 : 0.26 mm (最大値)

③ タペットの厚さ



④ 調整用タペットの種類

選択記号	厚さ (mm)
A	5.14
B	5.20
C	5.26
D	5.32
E	5.38
F	5.44

留意事項 (2G)

問題2

※ サークット・テスタのファンクション・スイッチは、電圧レンジ(Vポジション)以外では使用しないこと。

※ ECUの5V安定化電源の基準電圧：4.90V～5.10V

問1 スロットル・ポジション・センサの各端子の基準電圧

端子番号	スロットル・バルブ開度	基準電圧
1	全閉	0 V
	全開	0 V
2	全閉	0 V
	全開	4.90V～5.10V
3	全閉	0.37V～0.47V
	全開	4.90V～5.10V
4	全閉	4.90V～5.10V
	全開	4.90V～5.10V

問2 スロットル・ポジション・センサを調整した場合には、取り付けボルトは2本ともドライバで軽く締め付けるだけでよい。

留意事項（2G）

問題3

問1. バキューム・ホースの接続部

黄色側：真空式制動倍力装置側

白色側：インレット・マニホールド側



問2. バキューム・スイッチの正常時の作動

バキューム・スイッチに、負圧(約 -40 kPa)を掛けたとき導通がなく、負圧が無くなると導通する。



問 3. 無負荷時気密試験

制動倍力装置内の圧力を、約 -20kPa (試験の都合上)にして、その約15秒後の圧力が、約 -20kPa ～ -16kPa の範囲内にあること。

※時間を測定する場合は、試験委員がストップ・ウォッチを操作しますので、計測開始時には試験委員に指示して下さい。15秒後の合図は、試験委員が伝えます。



問 4. 簡易作動点検

- ① エンジンを1～2分間回転させて停止し、その30秒後に同じ踏力でブレーキ・ペダルを踏み込むと、1回目はストロークが大きく、2回目、3回目になるに従いストロークが小さくなることを確認する。
- ② エンジン停止状態で、ブレーキ・ペダルを数回踏み、次に、ブレーキ・ペダルを踏み込んだ状態で、エンジンを始動したとき、ペダルが少し下がることを確認する。
- ③ エンジン回転状態で、ブレーキ・ペダルを踏み込み、踏力が同じ状態でエンジンを停止させたとき、約30秒間ペダルの高さが変化しないことを確認する。